

令和7年度大阪市市民活動推進助成事業中間報告会

ぱふすぺ

障害がある子供もない子供も一緒に遊べる、またそういった子供をもつ親もそうでない子供を持つ親も楽しめる“居場所”作り

N P O 法人サードプレイス

代表 中西美穂



居場所支援 **ぱふすぺ**

本当の意味の“インクルーシブ”を推進するため、
障害がある子もない子も、そして、その保護者達
も巻き込んだ、ソーシャルな居場所支援



NPO法人サードプレイスとは

理念

脳性まひ児（障害児）やその家族が健やかに過ごせる共生社会を目指します

代表プロフィール

ノンフィクションライター。保育士。元週刊誌記者。不妊治療によって双子を出産。次男に障害があることがわかる。自身の経験を活かし、生殖補助医療、妊娠・出産・育児、障害・福祉を中心に取材活動を行う。障害児を持つ親を支援するNPO法人サードプレイスを運営。

代表的な記事



（デイリー新潮／新潮社）



（現代ビジネス／講談社）

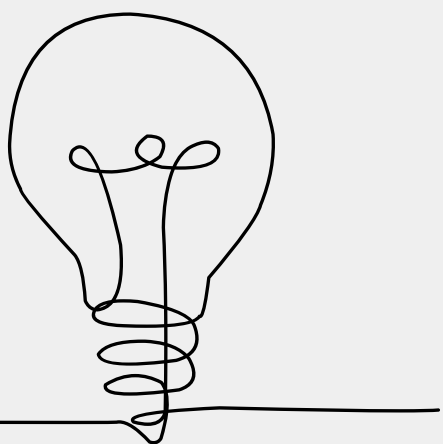


活動目的

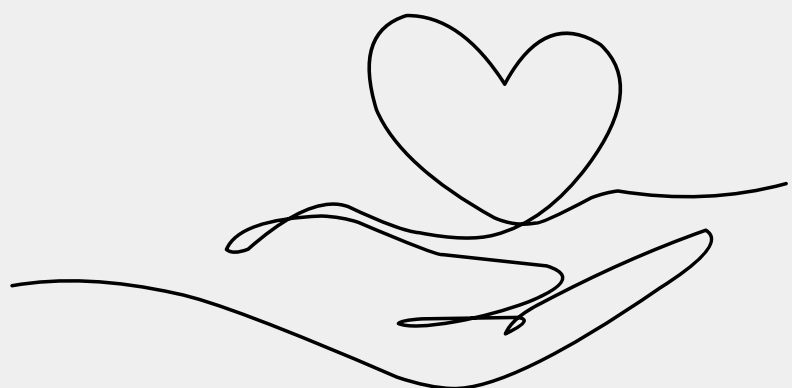
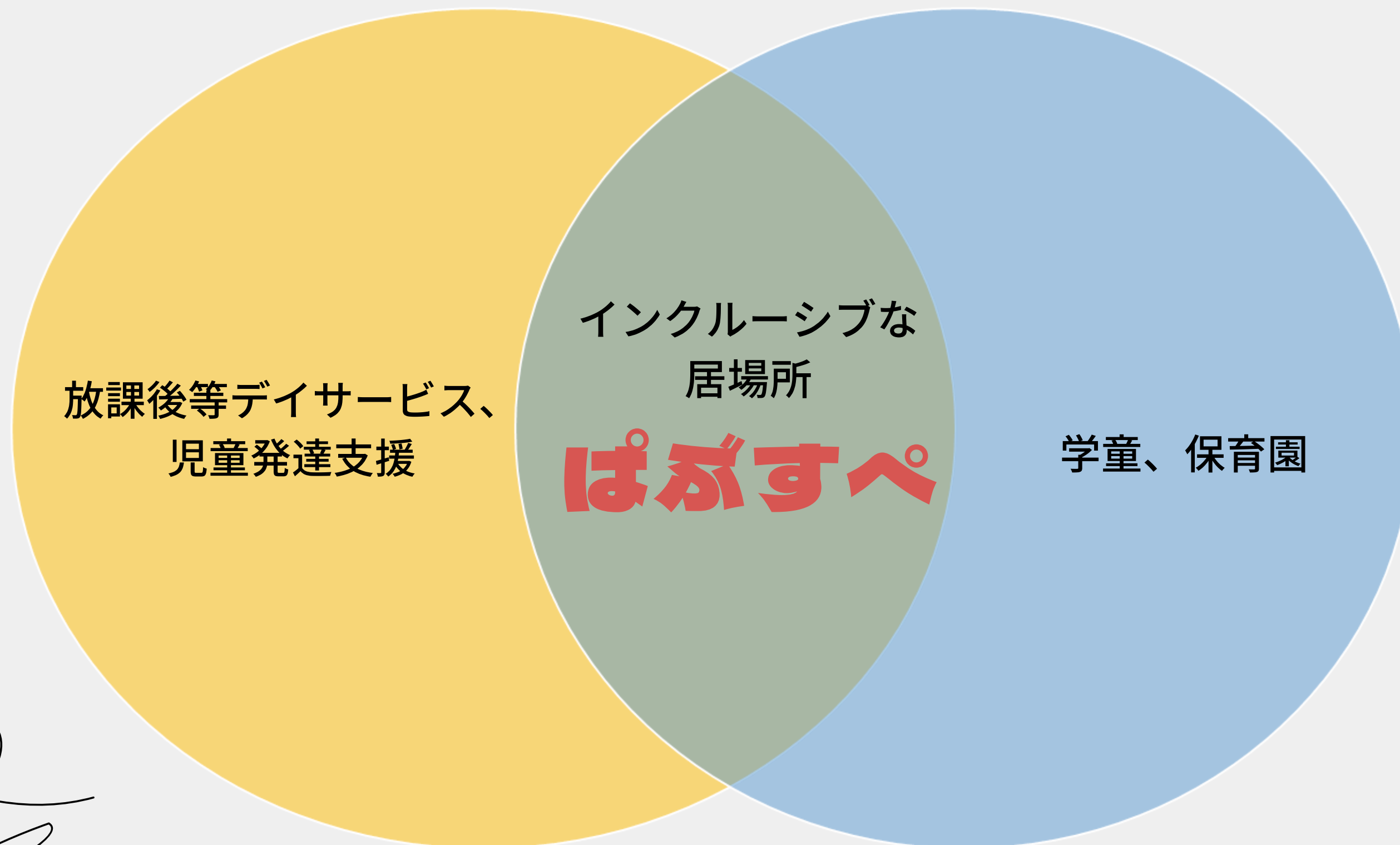
- ・ 配慮が必要な子どもとそうでない子どもが同じ空間にいて、お互いが理解し、一緒に遊ぶことで障害などの理解が進む
- ・ 親（特に母親）の居場所を兼ねることで、親の理解も進み、学校や放課後の子供のコミュニティだけではなく、家庭内でのインクルーシブ教育もを推進
- ・ 親の居場所は、育児に関する情報交換を行い、育児軽減のための支援にもつながる。

親と子ども同時にキャッチアップできる場所に

インクルーシブ教育の推進



活動目的



活動内容

活動場所

第二、第四水曜 14時半～17時半

活動場所

大阪府中央区 中大江校下センター

一日の流れ

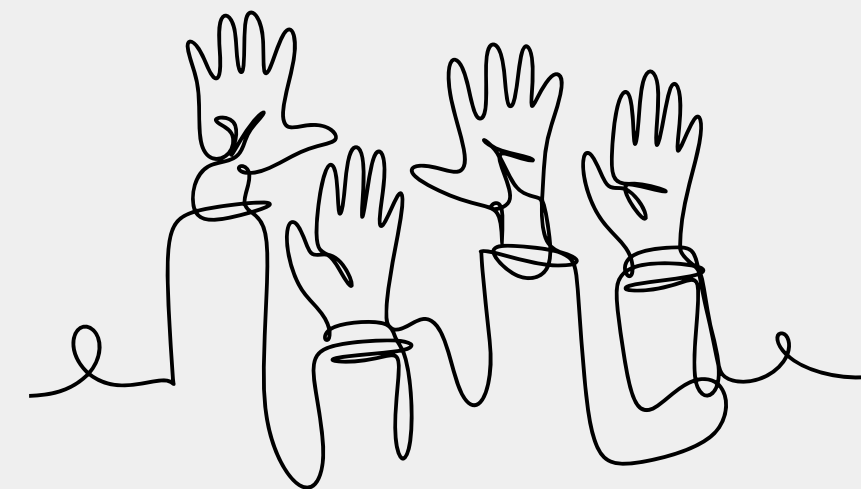
14時半～15時 子ども達が来る。

14時半～15時半 勉強時間

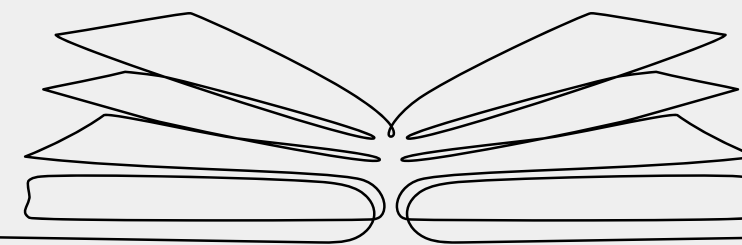
15時半～17時 イベント

17時～17時半 自由遊び

17時半～18時 片付け



活動内容



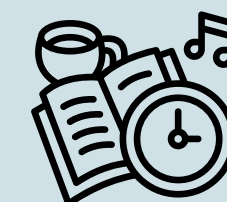
宿題補助

ボランティアの方々と一緒に宿題をやります。



イベント

毎回イベントを開催しています。



自由時間

自由遊びは各々で。宿題するもよし、ブロックで遊ぶもよし、寝転ぶもよし



活動目標

- ・ インクルーシブな居場所支援
- ・ 配慮が必要な子どもそうでない子ども、そしてその親も一緒に過ごす、交流する
- ・ 2024年度月2回から2025年度月4回へ
- ・ 利用者数一回あたり20人～30人
- ・ 寄付企業10社

■2024年度にスタートさせ、2025年度は開催数の増加、また、連携機関の増加、そして、寄付を増加させ運営費に充てる。

2024年11月デイ物件確保（※現在、物件はほぼ確定、人員も常勤はほぼ決定）

2024年12月デイ人員確保、デイ許認可申請を提出

2025年1月～2月、内装、デイのコンセプトを決定、また事務・経理・管理運営面、周知活動

2025年3月 プレオープン

2025年4月オープン、同時にぱぶすぺもこの場所で月4回開催

2025年夏頃 にじいろ学童との連携

現状

- 毎週月曜、デイサービス「Nest」で「ぱぶすぺ」を開所
- 平均利用者数 5 名ほど（固定）



- 集客が厳しいので、10月よりセンターに戻す
- 月2回 開催
- 「Nest」との交流

中間報告

【よかった点】

- ・ 固定で利用してくれるお子さんは数名確保できた
- ・ そのお子さんたちにとっては居場所、また、毎週楽しみになる場所になっている。
- ・ 地域のイベントに出展、参加（北大江地域の祭り、また、天満橋駅で開催のイベントなど）

【課題と感じている点】

- ・ 場所がわかりづらくなったため、人が流れてこない。
- ・ インクルーシブが推進できているか疑問
- ・ 他の機関との連携の難しさ（先方も多忙ため、交流ができない）

中間報告

- ・ デイサービス「N e s t」の開所
- ・ 2025年5月より、当会が運営する児童発達支援・放課後等デイサービス「N e s t」にて、週4回開催。
- ・ チラシを制作し、また、SNSで開催を報告。また、昨年度から運営している公式LINEにて、告知を行う。
- ・ 地域に根ざす
- ・ インクルーシブ科学イベントの開催



今後について

- ・ぱぶすぺ利用のお子さん、また、デイサービス「N e s t」利用のお子さんと合同で、キャンプ活動をする（11月）
- ・寄付活動のため、営業部隊を補強
- ・ぱぶすぺとデイサービス「N e s t」のお子様達の交流
- ・場所を元の場所（校下センター）に戻す
- ・校下センターで開催し、そこにN e s tの利用のお子さんたちも合同で遊ぶ
- ・チラシを大阪市全域に配布して、周知



来年度について

- 居場所支援の常設化を検討
- ぱぶすぺとNestの交流（定期的なイベント参加など）
- 国への提言

